

医療センターニュース

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

<http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL (059) 345-2321 (代表)

E-mail: sogohos@mie-gmc.jp

当院へのご意見・ご要望をお聞かせください

当院では、窓口でのわかりやすい説明やご案内に努めるほか、自動精算機の導入により会計処理の迅速化・効率化を図るなど、患者の皆さんの満足度の向上に取り組んでいます。

当院へのご意見・ご要望については、毎月1回、窓口職員の対応等についてお聞かせいただいているほか、毎年9月には入院患者さんに対して、また10月には外来患者さんに対してアンケートを実施し、職員の対応や施設・設備、当院への満足度等についてご意見をお聞きし、その改善に努めているところです。

また、ほかにも、1階の総合案内窓口や各病棟のデイルーム等にも専用用紙（「みなさまの声」）を置き、随時、当院へのご意見やご要望をお寄せいただいています。

今後も、地域の皆さんから信頼される病院をめざし、患者さんの視点に立った接遇や療養環境の整備に向けて、常に改善を図っていきたくと考えていますので、お気づきの点がございましたら、ご意見やご要望をお聞かせください。

- なお、今年度も、入院患者アンケート（実施予定期間：9月1日～30日）及び外来患者アンケート（実施予定日：10月27・28日）を実施させていただく予定ですので、ご協力をお願いいたします。



みなさまの声（用紙と投函箱）



自動精算機

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

もくじ

当院へのご意見・ご要望をお聞かせください……………1	生活習慣病・糖尿病教室のご案内……………3
「北勢呼吸器センター」をご利用ください!……………2	当院の協力病院（連携医療機関）紹介
新任医師の紹介……………3	医療法人尚豊会 みたき総合病院……………4

「北勢呼吸器センター」をご利用ください!

肺がんは、治療成績の良くないがんの一つで、最近の20年間においても死亡者数が激増しており、今後もさらに増加すると見込まれています。

その理由としては、長年の喫煙で肺機能が損なわれている高齢者に多いことや、病状が進行してから発見されることが多いことなどがあげられます。

また、肺炎による死亡者数も、高齢化社会を反映して増加の一途をたどっており、肺がんや肺炎、結核など、呼吸器疾患の患者さんの治療においては、早期に、専門の医師のいる医療機関で適切な治療を開始することが何よりも重要になります。



当院の呼吸器センター常勤医

三重県は、呼吸器内科医の人数が全国で最も少なく、当院が立地する北勢保健医療圏(県内の鈴鹿市、亀山市以北の地域)においても、呼吸器内科や呼吸器外科の常勤医がいる医療機関は限られています。

しかし、そのような状況の中でも、当院には7名の呼吸器内科医、2名の呼吸器外科医が常勤しており、北勢保健医療圏で、最も呼吸器領域の診療体制が充実しています。

このような強みを生かし、より多くの呼吸器疾患の患者さんに対して、早期に適切な診断や治療を行っていただけるように、従来の呼吸器内科外来と精神科外来との配置替えを行って呼吸器内科診察室の増設を行うなど、呼吸器センター機能の充実・強化を図り、本年4月から運用しています。

呼吸器疾患は、早期に専門の医師を受診して適切な治療を開始しないと、病状が進行し、手遅れとなってしまう場合があります。

これは、専門の医師でなければ、さまざまな疾患の可能性を考え、病状に応じた適切な検査を行うことが難しいため、しばらく様子を見ている間に、病状が進行してしまうことが多いからです。

皆さんも、健康診断時の胸部レントゲン撮影等で異常陰影が見つかった場合などは、肺がんや肺炎、結核など、さまざまな疾患の可能性が考えられますので、かかりつけ医さんにご相談のうえ、すぐに、多くの専門の医師が揃っている当院を受診してください。

また、今年度より、北勢地域で重点的に取り組んでいる医療機関がないCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の患者さんに対する呼吸リハビリテーションにも取り組んでいます。

COPDの患者さんは、その息苦しさから日常生活における活動量が低下していくものの、活動量の低下によってさらに息苦しさが増すなどの悪循環を招くこととなるため、1泊2日の入院により、呼吸リハビリテーションの実施による症状改善の可能性を検討し、改善が見込まれる患者さんに対して、外来でリハビリテーションを行うものです。

呼吸リハビリテーションを受けた患者さんからは、「息苦しさが改善し、楽に動けるようになった。」、「日常生活での活動量が上がった。」、「歩行距離が延びた。」などの評価をいただいていますので、呼吸リハビリテーションによる治療を希望される方は、ぜひ、かかりつけ医さんへご相談ください。

新任医師の紹介



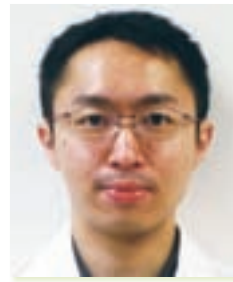
毛利 智美

所属：消化器・一般外科
 専門：日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本乳癌学会認定医、乳癌学会評議員、日本がん治療認定医機構暫定教育医、認定医、インフェクシオン・コントロール・ドクター、日本臨床外科学会評議員、アメリカ外科学会フェロー、検診マンモグラフィ読影認定医
 前任地：遠山病院



大森 雄介

所属：小児科
 専門：日本小児科学会専門医・指導医
 前任地：三重中央医療センター



東 礼次郎

所属：小児科
 前任地：国立三重病院



武岡 真美

所属：小児科
 前任地：三重大学医学部附属病院

※武岡医師は、6月1日赴任



生活習慣病・糖尿病教室のご案内

下半期(10月以降)の開催日が決定しました。
 参加を希望される場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

場所：県立総合医療センター7階講堂
 時間：14時00分～15時30分
 講師：当院医師・薬剤師・看護師・理学療法士・栄養士など♪

～ 楽しく学ぼう! 生活習慣病! ～

開催日	講義内容
【第7回】10月19日(水)	「生活習慣病・糖尿病はどんな病気?」「糖尿病の食事療法について」「基本的な運動療法について」
【第8回】11月30日(水)	「病院のくすりは怖い?怖くない?～飲み薬編～」 「食物繊維について～1日どれくらい摂ればいいの～」 「検査でわかる糖尿病」
【第9回】12月21日(水)	「合併症の予防 糖尿病と動脈硬化」「アルコールについて 飲んでもいいの?ダメなの?」「スキンケア・フットケア・口腔ケア」
【第10回】1月18日(水)	「合併症の予防 神経障害」「飲み物について 血糖値に影響する摂り方していませんか」「病院のくすりは怖い?怖くない?～インスリン編～」
【第11回】2月22日(水)	「合併症の予防 腎臓の障害について」「外食について 上手に外食するコツとは?」「検査でわかる合併症」
【第12回】3月15日(水)	「日常生活の楽しい過ごし方」「おやつについて カロリーってご存知ですか?」(サンプル展示)「座ってできるストレッチ体操」

★1コース6回の研修です。6か月ごとにコースを繰り返します。どの回からも参加できます。すべての研修に参加された方には修了書をお渡しします!

参加費無料!

【申し込み方法】

内科外来窓口もしくは玄関入口の地域連携課「かけはし」でお受けいたします。

連絡先：地域連携課かけはし 059-345-2321(代)

当院の協力病院(連携医療機関)紹介 第26回

医療法人尚豊会 **みたき総合病院** 院長 宮内 正之

診療科目

内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、麻酔科

外来受付時間

9:00	月	火	水	木	金	土	日
12:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00	月	火	水	木	金	土	日
18:00	○	○	△	○	○	△	△

※産婦人科は、16:00～18:30

※リウマチ科は、14:00～16:00(予約制)

休診日

■水曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始

所在地

〒512-0911

四日市市生桑町菰池458-1

TEL 059-330-6000



当院は、『私たちは、創造的で、あたたかく、優しい保健、医療や福祉を心がけ、地域とともに歩みます。』を基本理念として掲げ、平成12年、四日市市生桑町に開

設しました。同法人の施設として四日市健診クリニック、グループ法人・医療法人尚徳会としてヨナハ総合病院、ヨナハ介護老人保健施設、湯の山介護老人保健施設等があります。

病床数は、産婦人科病棟42床、一般病棟44床、回復期リハビリテーション病棟44床、医療療養型病棟44床の計174床となっています。また、在宅生活を支援する隣接の「みたき在宅ケアセンター」では、居宅介護支援(ケアマネージャー)、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問介護、訪問看護を実施しており、新しい生命の誕生のお手伝いから維持期、ターミナルまで医療的・福祉的ケアを行っています。

急性期治療を終了した後、安心・安全に次の生活に移行できるよう、県立総合医療センターをはじめとする近隣病院や関係機関と連携をとりながら、医師をはじめ看護師、リハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)、医療ソーシャルワーカー等の専門職がチームとなって患者様・ご家族様への支援をさせていただいております。



療法士・作業療法士・言語聴覚士)、医療ソーシャルワーカー等の専門職がチームとなって患者様・ご家族様への支援をさせていただいております。

地域医療機関の先生方へ

救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますようよろしくお願いいたします。